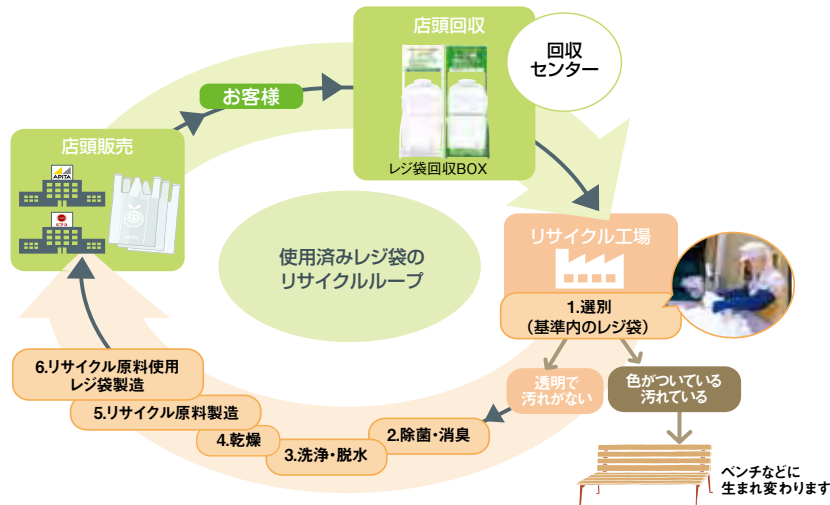




使用済みレジ袋のリサイクル

レジ袋の使用削減を進めると同時に、使用済みのレジ袋を回収し、再生資源として活用する取り組みを2008年より実施しています。回収したレジ袋は、着色の有無や汚れによって、再生レジ袋の材料として使用したり、ベンチなどの材料として再利用しています。



地域環境活動に寄付

レジ袋を無料配布しない地域では、1枚5円で販売しています。購入していただいたレジ袋1枚につき1円を地域の環境活動に寄付しています。

2010年度実績

92市町 175店舗 22,751,073円



レジ袋収益金感謝状贈呈（石川県金沢市）



名古屋市植樹祭（佐々木会長）

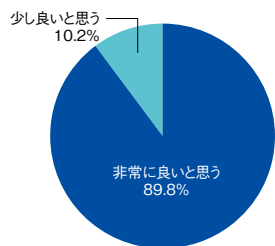
トレイを使用しない販売への取り組み

レジ袋の無料配布中止を8割近くの店舗で実施し使用削減が進み、次の容器包装削減には食品トレイを取り上げました。名古屋市緑区のピアゴ清水山店精肉売り場で、2011年3月23日から4月8日までの約2週間、トレイを使わない販売の実験を行いました。2008年にアピタ千代田橋店（名古屋市）で行った実験では、トレイを使わずポリ袋を使用した販売を実施しましたが、今回は紙シートにラップを使ったもので販売しました。購入前アンケートの「トレイを使わない販売」について、「非常に良い」と答えた方が89.8%でしたが、「トレイを使わない商品を買う」という回答は79.6%。実際にトレイを使わない商品の販売個数は約22%でした。購入理由は、「ゴミが減る」「環境にやさしい」「冷蔵庫での保管に便利」などでした。「トレイを使わない商品」の購入割合が高いものは、「鶏胸肉」（49.5%）、「豚口ースカツ」（24.9%）でした。

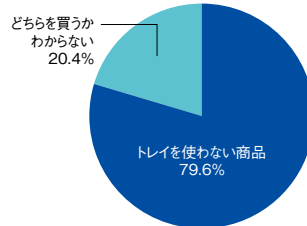
今後も、トレイを使わない販売について、お客様や売り場と一緒に検討していきます。



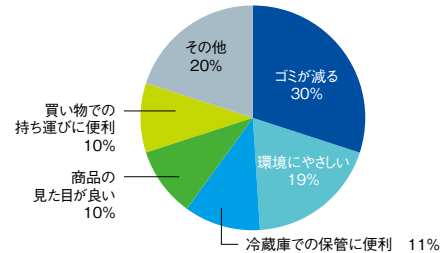
●「トレイを使わない商品の販売をどう思いますか？」



●「トレイ使用商品」と「トレイを使わない商品」どちらを買いますか？」



●「トレイを使わない商品」を買った理由



家電リサイクル

家電リサイクル状況

